

自他を大切にし、よりよい学級・学校生活を築こうとする児童の育成
～自主的・実践的な集団活動を通して～

第4学年 学級活動（3）指導案

令和3年6月16日（水）第5校時
第4学年1組 38名
授業者氏名

1 題材名 「おそうじ名人」イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解

2 児童の実態と題材設定の理由

本学級の児童は、男子20名、女子18名の明るく素直な児童が多く、休み時間になると、元気に外で男女一緒に遊ぶ姿が見られる。また、当番活動や係活動に主体的に取り組む児童も多く、自分たちで楽しい学校生活にしていこうという意欲の感じられる児童もいる。その反面、自信をもてずに意見を伝えられない児童や自分で考えて行動することが苦手な児童もいる。

当番活動については、4月に朝の会で話し合いを行った。その中では、新しく4年1組のきまりをつくり、当番と当番以外で自分ができることを考え実行してきた。また、「時間内に終わる」という目標をもって、できた時にはがんばり表にシールを貼っていくことにした。給食の時間については、できることが増えてきて、給食の時間を充分確保することで、色々な課題が解決されてきた。しかし、掃除当番の掃除の仕方については、様々な課題が残る。そこで、自分たちの課題に気付かせ改善策を話し合い、個々のめあてを決める活動を通して、掃除をする大切さと方法を身につけさせたいと考え、本題材を設定した。

3 目指す児童像に向けて

① 自分の思いや願いをもって、意欲的に取り組むための手立て

学級をよりよくするためのアイデアを出す。
提案理由に沿って、自分の考えを持ち、学級の課題を自分事として考えていく。
学年の終わりには、「学級のために〇〇ができた」と言える。

・アンケートの活用

→掃除について事前にアンケートを取ることで、自分や学級の現状を把握することができる。また、結果を図にしたり考えを提示したりすることで意識の共有が図れるとともに、学級全体の課題として捉えることができる。

・映像資料

→用務主事さんのインタビュー映像を見せることで、掃除をするよさや掃除の時に気を付けたほうがよいことに気付かせることができる。

② 自他のよさや差異を認め合い、大切にするための手立て

自分や相手のよいところや違い分かり、肯定的に受け止められる。

・ 道徳授業と関連させて日常的に自他の良さを認める活動を行う
 → 帰りの会で、友だちのよかったところやがんばっていたこと等を発表する時間を設け、日常的に自他のよさを差異に気付いたり認め合ったりできるようにする。また、自他のよさの視点を道徳授業と関連させて広げていく。

・ グループでの話し合い
 → グループで話し合うことで、自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりすることができる。また、普段発言することに抵抗がある児童も、少人数で話し合わせることで自信をもって自分の考えを伝えることができる。日常の授業から司会をたてて話し合わせることで、自分の考えが持てない児童は、友達の意見から自分の考えをもてるようにする。

・ 振り返り活動
 → 個々の取り組みをグループで確認し合う場を設け、お互いのがんばりを励まし合うことにより、実践の継続を図れると考える。

4 事前の活動

日時・担当	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿（観点） 【評価方法】
5/27（木）	・ アンケートに記入する。	・ 給食の時間の現状を把握する。	◎掃除について考えることができている。（主体的に取り組む態度）【アンケート】

5 評価規準（第3学年及び第4学年）

観点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活上の課題に気付き、多様な意見を基に、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。

道徳授業との関連

「琵琶湖のごみ拾い」 【内容項目】 C（13） 勤労、公共の精神

6 本時の活動

(1) ねらい

自分たちの掃除の様子を振り返り、自分に合った具体的なめあてを立て、実践しようとする。

(2) 展開

		児童の活動	指導上の留意点	資料	目指す児童の姿と評価方法
つかむ	導入	1. アンケートを基に、学習の見直しをもつ。 2. 今の掃除の実態を知る。	・事前のアンケート結果を張り出し、掃除について課題をつかみやすくする。 ・頑張っていることもあるが、課題もあることに気付く。	アンケートの結果	【思考力, 判断力, 表現力等】 よりよく意思決定する。
さぐる 見付ける	展開	3. 用務主事さんの話を聞いて、掃除のよさを知る。 4. 掃除上手になるために今できることは何か話し合う。	・掃除のよさや掃除の時に気を付けていることなどに気付けるようにする。 ・様々な方法が出し合えるように、グループで話し合う。	用務主事さんのインタビュー動画	・自分たちの課題を自分事として受け止め、話合いに参加している。 (観察) 【思考力, 判断力, 表現力等】 よりよく意思決定する。
決める	終末	5. 自分の課題に合った「がんばること」を決める。 6. 互いに自分の努力することを発表し合う。 7. 頑張った後の評価方法を伝える。	・自分自身の課題を確認できるようにし、何をどのように努力したらよいかを考えて、より具体的な自己決定ができるようにする。 ・互いの頑張りについて励まし合えるようにする。 ・5日間という期限を設けて評価をさせる。	学習カード	よりよく意思決定する。 ・友達の見意見を参考にしながら、自分が「がんばること」を具体的に決定し、進んで実践している。 (学習カード、観察)

7 事後の活動

日時・担当	児童の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿（観点） 【評価方法】
6/17 (木) ～ 6/23 (水)	実践カードを1週間実施し、目標を修正したり、新たな目標を設定したりする。	帰りの会で児童の頑張りや変容を称え、みんなで励まし合う。	◎自分の決めた目標に向かって、掃除の時間に自分にできることを実践している。(主体的に取り組む態度)【観察・カード】

8 板書計画

おそうじ名人になろう。		めあて	そうじの課題を見つけて、自分のめあてを決めよう。	
つかむ	さぐる	用務主事さんにインタビュー		
クラスのそうじは何点？		用務主事さんの言葉	みつける	
理由（できない）			[] [] []	
理由（できた）	<掃除のコツ>		きめる	
	・ ・ ・ ・ ・			